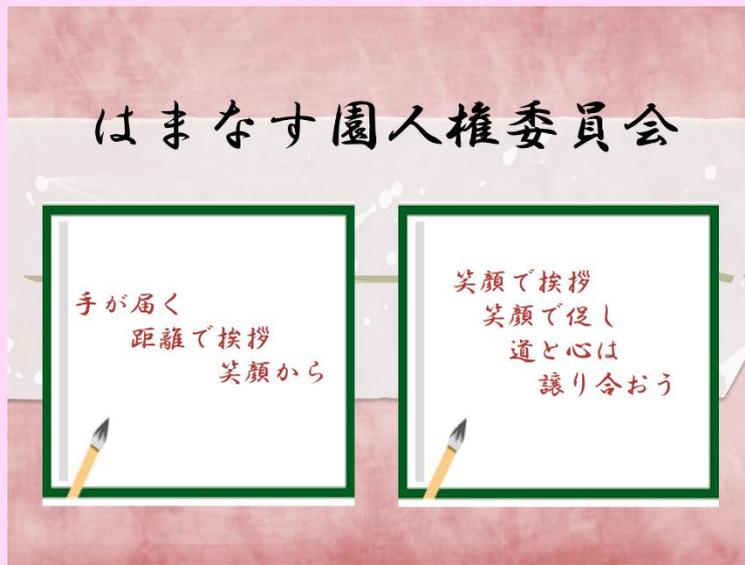


# はまなす園人権委員会



昨年の「おもてなし講座」から、はまなす園で出来ることの各棟で考えてもらいました。ついついやっちゃう遠くから呼んだりしないで手の届く距離に笑顔お伝えすることを上半期の標語として作りました。

今年度の半期の標語を作ってから、三か月がたったので、振り返りをしました。

振り返って職員からいろいろな意見をいただけたのでご紹介させていただきます。

- ・ 声かけ、挨拶は顔を見てするように意識しています。ただ、入り口から元気よく利用者さんに挨拶されると「手が届く」とはならないです…。
- ・ 毎朝、テーマを唱和した。帰り道でも一人で唱和した。一人でその日の支援を振り返るようにした。次の支援の改善へつなげるようにした。声かけの内容・タイミング・表情 etc
- ・ 遠くから利用者さんを呼ぶことがないようにしました。あいさつ（おはようございます、いってらっしゃい、おかえり、おつかれさま、等）意識しました。
- ・ 挨拶すること。笑顔でいれる時は笑顔で接する
- ・ 利用者に声をかける時に近くでかける場面が増えた。笑顔での対応については実施できていないことが多いと思う。
- ・ デスクワークは譲り合おうと心がけました。
- ・ 両方のテーマに当てはまる笑顔は意識することはありました。挨拶は時間帯によってでした。
- ・ 遠くから利用者さんを呼ばず、近くまで行き声を掛けるように（笑顔で）心掛けました。
- ・ 道は譲ってます
- ・ 大体笑顔で過ごせました。
- ・ 鏡で笑顔トレーニングを行いました。利用者さんや職員とわずかに優しく丁寧に接するようにしています。
- ・ 口で挨拶をするのは簡単であるが、顔を見てあいさつすることをしていなかったと思い、意識するようになった。
- ・ 心のどこかにテーマが残っており、利用者さんと接する際には意識することができた。笑顔でのあいさつを行うことができた。
- ・ 多少疲れがあっても表情を意識して接しようとして心がけることができた
- ・ 笑顔や譲り合う心は、常に持っていましたが、再認識することができた。